

## 会 議 録

会議名	第5回川西市地域医療懇話会		
事務局(担当課)	総合政策部行政経営室経営改革課		
開催日時	平成29年9月20日(水) 18時30分から19時30分		
開催場所	市役所4階 庁議室		
出席者	委員	藤末 洋 委員、中村 多一 委員、藤木 薫 委員 樋口 淳一 委員、北川 透 委員、辻村 知行 委員 藤島 恒治 委員、鴨井 公司 委員、野崎 秀一 委員 成徳 明伸 委員、堤 良子 委員、三丸 敦洋 委員	
	その他		
	事務局	山中経営企画部長、清水経営企画部参事、松木総合政策部長、 作田行政経営室長、的場経営改革課長、中村	
傍聴の可否	可	傍聴者数	18人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(1)開会 (2)議事 1. 川西市における地域医療の連携・協力のあり方について 2. 答申について (3)閉会		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

## 審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>ご案内しておりました時間がまいりましたので、「第5回川西市地域医療懇話会」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては本日もお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日が最後の懇話会ですので、活発にご議論をいただけたらと存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、藤末座長、議事の進行をお願いいたします。</p>
座長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>今回は最後の懇話会となりますので、委員の皆様には、これまでの議論を踏まえて活発な意見交換をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、前回の懇話会にて事務局をお願いしておりました検査紹介の数と川西病院附属診療所の経緯について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>1つ目の開業医の先生方からの検査紹介について、平成28年度の実績では、1月あたりCT検査は約66件程度、MRI検査は約125件、上部内視鏡検査は約32件、下部内視鏡検査は約23件、腹部超音波検査は約5件、心臓エコー検査は約6件、血管エコー検査は約8件という状況です。</p>
座長	<p>ただいまの説明について、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>私は検査紹介の件数としては少ないと思いますし、主にCT検査とMRI検査であればキセラへ移転しても問題ないのではと思います。</p>
座長	<p>次に2つ目の報告をお願いします。</p>
事務局	<p>川西病院附属診療所の経緯について説明します。</p> <p>市立川西病院は昭和58年に現在の場所に移転しました。その後、病院跡地に市立川西病院附属診療所を開設し、内科・外科の平日診療を開始しています。昭和61年6月に川西市休日応急診療所が開設され、ここでは内科・小児科について休日の応急診療を行っております。平成2年1月に市立川西病院附属診療所が廃止となりました。廃止後は休日応急診療所と附属診療所の内科・外科の平日診療を統合し、川西市応急診療所がスタートしました。ここでは平日の内科と外科の診療を午前9時から12時、休日の内科・小児科を10時から17時で開設をしておりました。平成20年3月末をもって、川西市応急診療所の小児科の診療を廃止しております。これは阪神北広域こども急病センターへの集約というのが理由です。翌年の平成21年3月末で平日の内科・外科の診療を廃止しました。これは市内の診療施設の充実と、それに伴う応急診療所の受診者数減少というのが理由です。</p>
座長	<p>補足として、新型インフルエンザが大流行した時には、市民病院でプレハブを建てて発熱外来をしました。応急診療所においても医師会の方で発熱外来を5日</p>

発言者	発言内容等
座長	<p>間開いたという経緯があります。</p> <p>次に、私の方から報告をさせていただきたいのですが、医師会にて9月8日に川西猪名川地域医療構想協議会を開催しました。</p> <p>6月の医師会の例会に本荘副市長に来て頂き、市立川西病院事業新経営改革プランと新病院の構想案の説明をしていただきました。それを基に医師会会員に事前にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて3点について協議しました。</p> <p>1つ目は、市立川西病院のキセラへの移転した場合にどのような問題が発生するかについて協議したところ、主な意見は「MRIやCTの検査紹介が遠くなって困る」という事でした。それから「緊急入院や処置の対応についても遠くなると困る」という意見が、特に北部の先生から挙がりました。それと専門外来について、例えば、病院と併診している癌の患者さんの受診が遠くなる。このような事が問題であると意見がみられました。</p> <p>2つ目は、北部急病センターについてです。まず、名称について問題があるということです。急病センターという名称であれば救急搬送しても入院施設がないと、混乱が生じるというご意見が多数でした。急病センターでは、どの程度の医療を提供するのかということが大きな論点でありました。また、新型インフルエンザ等の発熱外来を実施できるような機能が必要であるという意見や、休日の応急診療所との機能分担をどのようにするのかという意見もありました。</p> <p>3つ目は、キセラ川西センター新病院については、問題点と要望がいくつか挙がりました。新病院には、大災害を支援できる機能、特殊外来機能、例えば認知症に対応する外来、産科や小児科の充実、急病の受け入れを確実にしてほしいなど要望がありました。</p> <p>次に、市民病院には1日あたり約400名の外来患者さんが来られています。その患者さんをどうするかということも協議しました。これについては、出来る限り現医療機関で対応するが、全てを対応できるとは限らない。やはり慢性疾患(定期受診)にも対応出来る機能があれば良いという意見もありました。全てを医師会で対応できるとは言えませんでした。</p> <p>纏めますと、北部急病センターは名称を含めて機能についても再考の必要があり、また、CTやMRI等の検査への対応も必要である。</p> <p>新病院については、救急の受け入れを確実にし、大災害にも視野に入れた機能にすること、産科・小児科の機能を充実させるという要望がありました。</p> <p>また、地域包括ケアについては、今後さらに医療と介護の連携を考えなければならない問題であり、2025年に向けて高齢化も加速し、さらに2040年から全年齢層が減っていくという大きな問題も抱えていますので、医師会でも十分に検討していきたいと考えております。</p> <p>今後とも既存の病院、診療所と介護施設等との連携を深めていかねばならないという認識で、引き続き検討して行くことで協議会を終えました。</p> <p>以上が9月8日の医師会の協議会での内容です。この件についてご質問はありますか。</p>
委員	<p>北部救急センターにてどの程度の救急をするのかということが気になります。検査の数が少ないという意見もありましたけど、救急をやるうえでは CT と MRI 検査</p>

発言者	発言内容等
	<p>は必要だと私は思います。</p>
委員	<p>北部急病センターは全く入院機能を持たず、内科・小児科・整形外科を置くという事で、救急で来られた場合、他の科は診ないのですか。</p>
事務局	<p>構想案では、北部急病センターについては、現市民病院をかかりつけ医として利用されている患者さんのために役割を果たしつつ、一次救急も担っていく必要があるという想定でしたが、さまざまなご意見がございましたので、改めてどのような機能や体制が適当なのか委員の皆様にご議論いただきたいと思っております。</p>
委員	<p>北部急病センターについては、昔であれば診療所を残しておかないというのがあったかもしれませんが、現在は電子カルテがありますし、検査や画像もネットワークで見られるようになっていきます。検査機器とか画像診断装置を2つに分けて持つくらいのであれば、1つに集約して良い機器を入れた方がいいと思っております。</p> <p>外来機能は大きい病院ではやればやるほど大変という事があるので、経過観察だけを診るような、診察室とネットワークを持ってやるという方法にした方がコストパフォーマンスもいいと思います。昔と同じ発想で色々な機器を確保してやるという時代じゃないと思います。それよりも良い機械で綺麗な画像を撮って、近くで結果を聞くとかそういう方法がいいと思います。北部には、相談できるような人を1人おいて、病歴は電子カルテで見て、必要があればキセラに送るという体制にして、キセラに集中して資金をかけて検査機器等を充実した病院にした方が連携は取りやすいと思います。</p>
委員	<p>救急病院はベリタス病院などが既に近くにありますが、あまり北部に大々的な救急病院を造る意味はないと思います。</p>
委員	<p>外来の処方箋を見ていると、薬に関しては安定されている。3カ月分くらい一緒の薬ということが多いので、開業医の先生に戻せる患者さんがいるのではと個人的に思います。</p>
委員	<p>高齢者の方で歩けない・動けないという方が多いので、そういう方はいずれ開業医の先生にお願いするべきだと思っております。入院できる病院が近くにないという不安が一番強いですね。ただ、少し行けばキセラという大きい病院があって、対応していただけるという安心感があれば大丈夫だと思います。</p>
委員	<p>そもそも財政的に圧迫しているのを改善する為の手段としてこういう話しになってきていると思うので、先生方がおっしゃったように北部に赤字になるような運営形態をとるのはナンセンスだと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。北部急病センターについては、委員の皆さんのご意見では再考する必要があるということですね。</p> <p>市長から「川西市における地域医療の連携・協力のあり方」という諮問を受けております。この中に大きな2つの課題がありまして、1つ目が、一時的に入院が必</p>

発言者	発言内容等
	<p>要となった患者の受け入れについてどうするか、2つ目が、現在の市立川西病院をかかりつけ医としている患者さんの対応です。</p> <p>この場で答申をまとめていくことは、時間的にも難しいので、私の方で事務局と調整しながら作成したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
座長	<p>ありがとうございます。それでは、私の方で事務局と調整しながら答申させていただきます。</p> <p>現在救急指定病院が市内に4か所あります。本会には、各救急指定病院の代表に委員として参加して頂いておりますが、市民病院が北部から南部へ移転した場合には、一時的に入院が必要となった患者さんの救急の受け入れについては如何でしょうか。</p>
委員	<p>どこの救急病院も救急を断ることを無くすということを目指してやっていますし、それに合わせて施設と人材の確保を進めておりますので、そういう状況になっても救急車が来れば受け入れの対応はしたい。一方で、課題となってくるのは救急病院だけではなく、訪問看護とかに行かれています方が急変した時に近くの急性期病院で診るといことも考えていかないといけない。</p>
委員	<p>南部へ移転すると救急が増えると考えています。そのことに関してはスタッフの充実を図って対応していきたいと思っています。それと急性期を過ぎた患者さんを受け入れてもらう病院と連携していかないと、救急が受け入れられなくなると思います。この辺りの連携が大事かと思っています。</p>
委員	<p>規模そのものが小さいので、夜間の救急としては整形を主としてやっております。内科は発熱などの程度の軽いものも受け入れています。</p>
委員	<p>受け入れられる患者さんは受け入れていくという方針に変わりはありません。キセラのように近くに三次救急の大きな病院ができるほど、受けやすい体制が整うと思います。キセラまで送れば大丈夫という体制になれば救急も受けやすくなると思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>救急医療だけでなく地域包括ケアについては、市内全体の医療と介護について新病院を中心に各病院、診療所、介護施設を含めて連携を強化する必要があることが皆様のご意見から見えてきたと思います。</p> <p>地域包括ケア病床の充実や認知症対策など、将来を見据えた各病院の役割分担については、今後とも引き続き協議を進めていく必要があると思います。今後の協議については、まず、医師会で、病院間の機能分担、病院と開業医との連携などについて協議を行い、その結果を基に行政と協議していきたいと考えております。また、地域包括ケアシステムの構築には、従来から医師会で多職種の方々に集まって実施している地域ケア協議会や、在宅医療介護連携推進協議会等にも協力しておりますので、さらなる連携強化は可能であると思います。この点</p>

発言者	発言内容等
座長	<p>についても答申所にまとめていきたいと思いますが、いかがでしょうか</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p> <p>2つ目に北部急病センターの機能については、さまざまな問題があるという意見が多数出ました。急病対応よりも、通常の診療体制の補完や、検査機能の充実が必要であり、名称変更も含めて機能については再考することを求めたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p>
座長	<p>では、以上の内容を答申にまとめ、事務局とも相談しながら答申したいと思えます。その際には、事前に皆様にもご覧いただくことにしたいと思います。</p> <p>また、当懇話会では、新病院の機能についても、例えば口腔外科について、災害医療について、精神科の体制の強化について、新型インフルエンザ対策について、健診機能についてなど、様々な意見がありました。事務局には、新病院の基本構想策定にあたっては、当懇話会の意見を十分に参考にさせていただきよう申し添えておきます。</p> <p>全5回にわたり、活発な議論が行えましたことを、この場を借りて皆様に感謝を申し上げお礼を申し上げます。</p> <p>それでは、事務局へマイクをお返しいたします。</p>
事務局	<p>藤末座長、ありがとうございました。</p> <p>皆様には5回にわたり、活発にご議論をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会に際しまして、総合政策部長の松木より、御礼のご挨拶を申し上げます。</p>
松木部長	<p>&lt;部長あいさつ&gt;</p>
事務局	<p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方のおかげで、無事に閉会できましたことを心より感謝申し上げます。</p>